令和2年度 熊川小学校スクールプラン

児童の実態
 ・何事も真面目に取り組む
 ・友達を大切にする
 ・切磋琢磨する機会が少ない

保護者や教師の願い
 ・主体的に行動してほしい
 ・自己肯定感を高めてほしい
 ・地域に貢献できる人になってほしい

【校訓】(五条の教え)
反省 素直 努力 奉仕 感謝

【学校教育目標】
自ら考え行動する児童の育成

【めざす学校像】
 笑顔あふれる学校
 安心安全な学校
 地域に愛される学校

【めざす教職員像】
 学び続ける教職員
 プラスαのある教職員
 信頼される教職員

【研究主題】 共によりよく生きようとする子どもの育成
 ～自分の事として考え、議論する道徳～

【めざす児童像】

よく考える子

人や自分を大切にする子

チャレンジする子

【重点目標】

自分の考えを持ち、表現・行動する力を育てる

自己有用感と自己肯定感を高める

目標に向かって粘り強く取り組む力を育てる

【具体的取組】

・聞く力を育て、人の話に反応(賛成・反対・修正・追加・感想・質問等)ができるようにする。
 ・自分の考えを発表し、交流しながら学び合う場面を多く設定する。(授業、全校集会、全校道徳等)
 ・朝読書、週末読書、読み聞かせ、親子読書等を通じた読書活動を推進する。

・「ほめほめタイム」や行事のふり返りの時間を設定し、自分や他人のよいところに気づけるようにする。
 ・誰もが安心して楽しく学校生活を送ることができる環境を作り、いじめ・不登校を未然防止する。
 ・いつでもどこでもだれにでも、自分からあいさつができるようにする。

・学期ごとに自分の生活目標、学習目標を設定し、目標に向かって努力する習慣をつけ、可能性を引き出す。
 ・年間3回の漢字計算コンテストで満点を目指す。
 ・熊川小スマートルールを推進する。

【数値目標】

・話をよく聞いて、反応することができた。(85%)
 ・授業や全校道徳で、自分の考えを発表することができた。(90%)
 ・学校や家でたくさん本を読んだ。(90%)

・自分や他人のよいところに気づくことができた。(85%)
 ・毎日学校へ行くのが楽しい。(95%)
 ・進んであいさつをすることができた。(95%)

・目標に向かって努力することができた。(85%)
 ・漢字計算コンテストで2回以上満点をとることができた。(90%)
 ・熊川小スマートルールを守ることができた。(80%)

【家庭・地域との連携】 信頼される学校づくり
 ・家庭や公民館、地域団体との連携の推進   ・「親子道徳」等地域と共にする学習活動や地域との体験活動の推進   ・学校だよりやブログ等による地域への積極的な情報発信